

会員各位

ASDO・JSCA 東京共催 技術研修会のお知らせ
シリーズ「鉄筋コンクリート造建物の構造設計の現状」
第 4 回 「高層鉄筋コンクリート造建物の耐震性能評価」

講師：元 千葉大学大学院教授 和泉信之 先生（JSCA 名誉構造士）

共催 一社）東京構造設計事務所協会（ASDO）
一社）日本建築構造技術者協会（JSCA 東京）

兵庫県南部地震から 30 周年、能登半島地震から 1 周年を迎えた今年の 1 月は、震災に関する多くの TV・新聞報道で、その時の被災状況を語り継ぐことの大切さが報じられました。それは紛れもなく辛く悲しい記憶ですが、次の大地震に備えて忘れてはならない記憶のはずです。またこうした悲しみを繰り返さないために、建築物の安全確保は、建築構造設計者である私達に課せられた何よりも大切な任務です。

この研修会では、そのことを十全に果すための研修を続けてきました。そして今回は、日頃扱い慣れているはずの、RC 造の安全確保を学び直すことをテーマとしたシリーズの最終回になります。当日は研修会後に、和泉先生と直接意見交換ができる場を用意しました。沢山の皆様のご参加をお待ちしております。

和泉先生からのメッセージ

「鉄筋コンクリート造建物の構造設計の現状」と題して、皆さんと一緒に考えてきました。第 1 回と第 2 回は、実務設計に多く用いられるルート 3 に関する「鉄筋コンクリート構造保有水平耐力計算規準」の要点と提案についてお話ししました。第 3 回は、建設業技能者が減少するなかで省力化工法として注目される「現場打ち同等型プレキャスト鉄筋コンクリート構造」の進展を取り上げました。

最終回の第 4 回では、巨大地震への対策が求められる RC 造建物の耐震余裕の重要性について考えましょう。テーマは、「高層鉄筋コンクリート造建物の耐震性能評価」です。

高層 RC 造建物では、保有水平耐力計算などにより実務設計が行われています。耐震性能メニューでは、地震動の大きさと性能グレードが設定されています。性能グレードで示される建物の状態、例えば、中破とはどのように評価されているのでしょうか。

一方、超高層 RC 造建物では、時刻歴応答解析により構造計算が行われています。私たちが実務設計で用いている解析方法は、どのような大きさの地震動に対して、応答値を精度よく求めることができるのでしょうか。また、多くの超高層 RC 造が建設されてきましたが、どのような大きさの地震動により、中破以上の損傷はどの程度の比率で生じるのでしょうか。

RC 造建物の耐震性能評価に関して、日本建築学会から 2004 年に「鉄筋コンクリート造建物の耐震性能評価指針（案）」が刊行されました。高層 RC 造の耐震性能メニューの性能数値表は、この指針に倣っているようです。この評価指針は刊行から約 20 年が経ちますが、お読みになりましたか。

第 4 回では、高層 RC 造建物の耐震性能評価に関して、評価方法の基本的な考えや超高層 RC 造への適用などについてご説明し、被災度推定例や震動実験・地震観測例などをご紹介します。

まず、時刻歴応答解析による耐震設計を概観して、高層 RC 造では S 造と比べてレベル 2 応答時より大きい変形を想定して検討するのはなぜなのか、考えます。次に、評価指針の基本を踏まえて、超高層 RC 造の耐震性能評価への適用についてご説明し、既存超高層 RC 造の被災度推定例をお話しします。最後に、中高層 RC 造の応答評価例や震動実験・地震観測例をご紹介します。

最終回は、皆さんとともに高層 RC 造の「設計における耐震余裕の重要性」について再確認する場にしたと考えています。

今後、保有水平耐力計算とともに地震応答解析が実施され、大地震に対する耐震余裕が明示された様々な高層プレキャスト RC 構造が設計されることを期待しています。

シリーズ「鉄筋コンクリート造建物の構造設計の現状」

第4回「高層鉄筋コンクリート造建物の耐震性能評価」

日時 : 2025年3月4日(火) 18時00分～ (受付17時30分より)

場所 : 日大理工学部駿河台校舎1号館 2階 122会議室 (千代田区神田駿河台1-8-14)
および オンライン配信 (ZOOM配信、YouTubeライブ配信)

(YouTubeライブ配信は後日でも視聴可能です。)

プログラム : 司会 市村隆幸 (株親交設計、ASDO 副会長)

18:00～18:05 趣旨説明 金田勝徳 (株構造計画プラス・ワン)

18:05～19:50 講演 元 千葉大学大学院教授 和泉信之 先生

19:50～20:00 質疑応答

20:10～21:30 意見交換会※ (懇親会、立食形式) 会場:同校舎1号館2階カフェテリア

※シリーズ最終回恒例となっている意見交換会も開催いたします。和泉先生も参加され講演会では聞けないようなお話も個人的に直接伺えます。ぜひ意見交換会にもご参加ください。

講演資料 (お持ちの方は、ご用意ください)

○「鉄筋コンクリート造建物の耐震性能評価指針 (案)・同解説」/日本建築学会

○2017年度 AIJ 大会 RC 構造 PD 資料 「超高層 RC 造建物の耐震設計の現状と今後の課題」

日本建築学会会員の方は、こちらより↓ダウンロード可能です。

<https://www.aij.or.jp/taikaidoc2017.html>

講演会参加費 (対面、オンライン共通)

お申し込み時にイベントサイト「Peatix」にてお支払いください。

ASDO 正会員・準会員・賛助会員 : ¥1,000

JSCA 正会員・一般会員・賛助会員・学会会員 : ¥1,000

非会員 : ¥2,000

学生 : 無料

意見交換会参加費 : ¥4,000 「Peatix」にてお申し込み、お支払いください。

意見交換会参加希望者は、申込時にご登録をお願いします。

ASDO、JSCA 会員外の方、構造設計業務の関係者、学生、その他の方々のご参加も歓迎いたします。是非ご参加ください。

参加希望の方は、下記申込みフォームよりお申し込み下さい。

申込後に配信 URL や詳細をお知らせいたします。

→ <https://asdo250304.peatix.com>

お申し込みの際、

イベントサイト「Peatix」に登録する必要があります。

お手数おかけしますがよろしく願いいたします。

また Peatix で「ASDO 研修委員会」フォローいただきますと今後 ASDO 関係のイベント情報が届きます。ぜひフォローをお願いします。

申込締切日 2025年2月25日(火)

申込締め切り日を過ぎますと、連絡先メールアドレスが登録されず、配信 URL や変更事項などがお知らせできなくなる場合がございます。必ず締め切り日までにお申し込みください。



お申し込みフォーム QR コード

ご不明な点などございましたら、**問合せ先 e-mail : kensyu@asdo.or.jp** までご連絡ください。

(※ @は半角に置き換えて下さい。)

(ASDO 事務局へのお電話による直接のお問合せはお控えください。)

インボイス対応の領収書につきましては、イベントサイト「Peatix」で申込後、送信されるメールからイベント視聴ページへ移動をクリックすると領収書ダウンロードのリンクが表示されます。

日本大学理工学部駿河台校舎 1 号館 案内図

住所：東京都千代田区神田駿河台 1-8-14



会場：2 階 122 号室

その他：

オンラインイベントのため機材や通信トラブルが生じた場合、中断することもあります。ご了承ください。

オンライン参加の場合、お一人様のお申し込みにより複数人で視聴したり、参加用 URL をシェアしたりすることは固くお断りいたします。また、スクリーンショットや録音・録画は禁止します。